

# 補足資料

姫路獨協大学

# 目次

## 補足資料

委員からの質問に対する回答	1
姫路獨協大学入学者の傾向について	4
(1) 入学者構成比率【大学全体】	5
(2) 入学者構成比率【文系学部】	6
(3) 入学者構成比率【医療保健学部】	7
(4) 入学者構成比率【薬学部】	8
(5) 入学者構成比率【看護学部】	9

【委員からの質問に対する回答】

作成:浦山

1. 入学者が減ってきた最近の10年の経済波及効果はどうか

最後のページのグラフをご覧ください。

2. 2018年の実際の状況での経済波及効果はどうか

報告書35ページのパネルBに、収容定員を充足している場合とともに、実際の2018年の経済波及効果を掲載しております。

3. 32年間の単年度ごとの推移をグラフ等でよりわかりやすく提示できないか

最後のページのグラフをご覧ください。

4. 委託調査金額はいくらか

委託研究契約を締結し、兵庫県立大学へ委託研究費として、間接経費を含む39,000円支出しています。

5. 作成者の浦山先生の略歴、姫路獨協大学に在籍した期間

2000年3月龍谷大学経営学部経営学科 卒業

2003年3月神戸大学大学院経営学研究科会計システム専攻博士課程前期課程修了(修士(経営学))

2006年3月神戸大学大学院経営学研究科会計システム専攻博士課程後期課程修了(博士(経営学))

2006年4月姫路獨協大学経済情報学部経営情報学科専任講師

(中略)

2019年4月兵庫県立大学国際商経学部国際商経学科准教授(現在に至る)

※姫路獨協大学に在籍した期間:2006年4月～2019年3月

6. 報告書4ページでは2018年度までの32年間の波及倍率は1.26倍で、資料の32ページを参照となっている。6ページでは18年度の単年度の波及倍率が1.25倍になっているこの差は何か。

32年間のほとんどの年度の波及倍率が1.26倍となっているのですが、2018年度は施設整備に関する最終需要増加額がほぼないため、他の年度よりも低く1.25倍になっていると考えられます。

7. 本来はあるはずだった経済効果が、実際は定員割れをしたための損失額

収容定員割れが生じ始めたのは2003年度からであり、2003－2018年度までの定員割れによる経済波及効果の損失額は、およそ92億円と推計されます。

(単位:百万円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011
教育・研究活動	-12	-30	-110	-169	-249	-283	-309	-298	-333
学生の消費	-18	-42	-153	-234	-349	-394	-431	-416	-464
合計(損失額)	-30	-72	-263	-403	-598	-677	-740	-714	-797

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
教育・研究活動	-353	-339	-324	-96	-298	-308	-285	-3,796
学生の消費	-492	-472	-452	-353	-397	-364	-360	-5,391
合計(損失額)	-845	-811	-776	-449	-695	-672	-645	-9,187

(注1) 経済波及効果の損失額は、次の①および②の合計で推計しています。

① 収容定員不足の学生数が在籍していたならば、当該学生の消費の増加により生じたはずの経済波及効果 (学部生のみ)

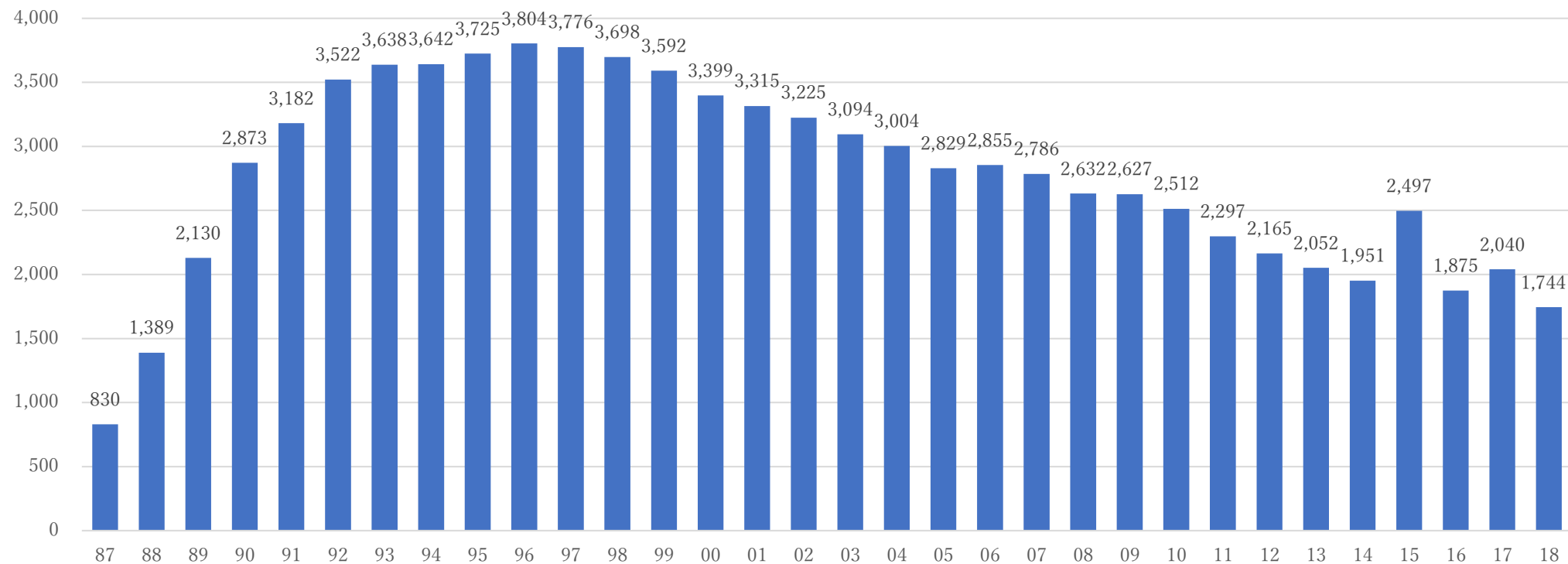
② 収容定員不足の学生数が在籍していたならば、教育・研究活動の支出の増加により生じたはずの経済波及効果

(注2) もし収容定員を満たしていれば、教職員の賞与が通常どおり支給されたり、設備投資が行われ、それにより経済波及効果の増加が期待されるため、定員割れによる損失額には本来はそれらも考慮すべきですが、収容定員を満たした場合にそれらがどれだけ増加するのか (定員割れによる損失額) を合理的に推計することは困難であるため、ここでは含めていません。

8. データについて「全国消費実態調査(姫路市)の平均値を使っているが、本学の実際のデータを使って試算する必要があるのではないかと

ご指摘のように、より精度を高めるためには大学の実際のデータを使用するのが望ましいですが、そのためにはすべての学生に対して消費アンケートを実施する必要があります。しかし、その実施・集計には多くの費用と時間が掛かり、また指定された研究期間が短かったため今回は断念しました。

32年間の各年度における経済波及効果の推定値（単位：百万円）



(注1) 1987-2014年度までの施設整備による最終需要増加額については、この間に発生すると推定した金額を28年で割って、各年度に帰属させている。

(注2) 報告書では最終合計を四捨五入しているのに対し、ここでは各年度で四捨五入している関係で、合計額は一致しません。

(注3) 2015年度の増加は当該年度に多額の設備投資があったため、2017年度の増加は教職員の人件費の増加によるものです。

## 姫路獨協大学入学者の傾向等

### ① 学部毎の広報対象地域について

広報活動の方法については、前回審議会で回答致しましたとおり、資料請求企画・新聞雑誌広告参画の他に、業者主催による会場進学相談会及び高校内進学相談会参加、教職員担当者による出張講義・高校訪問が主となるものである。高校訪問対象地域は、以下の通り。

なお、教員による在学生及びOB・OGのいる高校への訪問以外は特定学部のみ的高校訪問は行っていない。

- ・ 近畿地方(滋賀県・奈良県・和歌山県を除く)
- ・ 中国地方(山口県を除く)
- ・ 四国地方(すべて対象)

### ② 姫路獨協大学入学者の傾向について

#### 入学者の地域別分布作成条件

- ・ 開学より数年の学生の帰省先データの一部が失われており、居住地による分析が不可能であるので、出身高校の所在地による分布表とした。
- ・ 入学生の高校課程が「通信制」となっているもの及び全国規模の通信制高校となっているものは「その他」で分類した。
- ・ 留学生や高卒認定資格による入学者も「その他」に分類した。
- ・ 開学から今年度までを4期に分け、それぞれ地域別に集計し、その構成比率を比較した。
  - I期 … 1987年度～1995年度（高水準推移期(競争率10倍前後)）
  - II期 … 1996年度～2004年度（急減期）
  - III期 … 2005年度～2013年度（医療保健学部・薬学部開設）
  - IV期 … 2014年度～2021年度（看護学部開設）

#### 学部別地域特性

大学全体 … 全期を通して近畿圏内の構成比率をみても兵庫県が非常に高く、県内における構成比率も中播磨・東播磨・神戸というJR神戸沿線地区の構成比率が非常に高い。

薬学部 … 近畿圏内の構成比率では、兵庫県が最も高いが他の学部と比較して大阪の構成比率が高い。また、県内の構成比率においても、中播磨や東播磨より神戸の構成比率が最も高い。

## 高校所在地別入学者数(大学全体)

### 全国構成比率

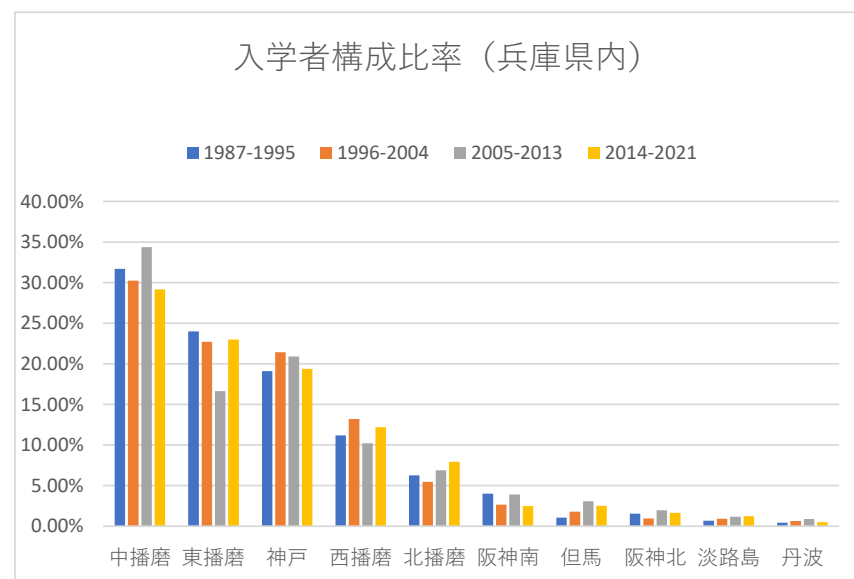
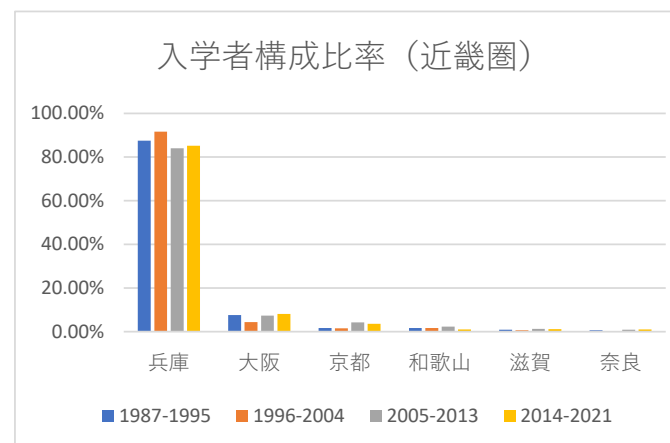
	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
東海地方以東	3.8%	2.9%	4.3%	4.2%
近畿地方	80.7%	74.9%	62.5%	69.7%
中国地方	10.0%	13.5%	15.2%	10.6%
四国地方	3.1%	4.9%	7.8%	5.1%
九州・沖縄地方	1.8%	1.6%	2.1%	3.0%
その他	0.7%	2.2%	8.0%	7.4%

### 近畿構成比率

	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
近畿				
兵庫	87.55%	91.61%	84.00%	85.16%
大阪	7.61%	4.33%	7.39%	8.10%
京都	1.65%	1.51%	4.28%	3.59%
和歌山	1.67%	1.66%	2.27%	1.01%
滋賀	0.87%	0.68%	1.23%	1.14%
奈良	0.65%	0.21%	0.84%	1.01%

### 県内構成比率

	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
兵庫県				
中播磨	31.71%	30.23%	34.37%	29.15%
東播磨	24.01%	22.70%	16.63%	22.98%
神戸	19.10%	21.43%	20.90%	19.38%
西播磨	11.18%	13.19%	10.22%	12.19%
北播磨	6.27%	5.47%	6.87%	7.92%
阪神南	4.00%	2.67%	3.92%	2.47%
但馬	1.07%	1.80%	3.06%	2.52%
阪神北	1.55%	0.96%	1.96%	1.65%
淡路島	0.67%	0.92%	1.18%	1.23%
丹波	0.45%	0.64%	0.89%	0.51%



## 高校所在地別入学者数(文系学部)

### 全国構成比率

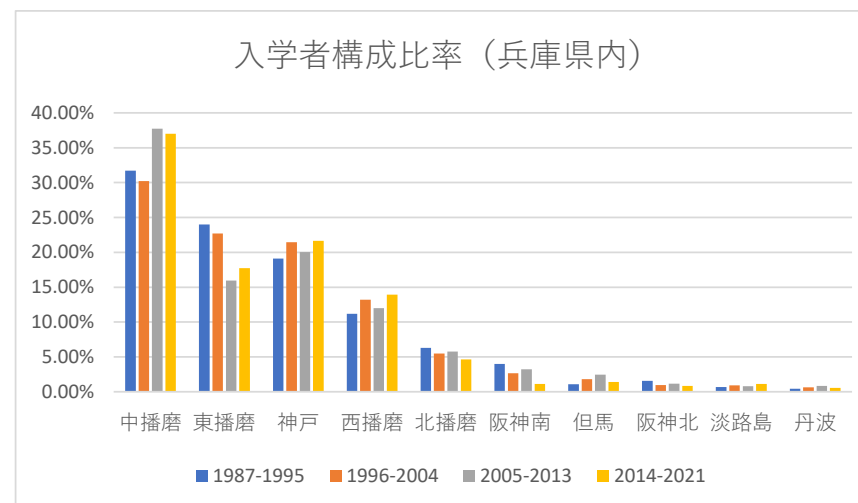
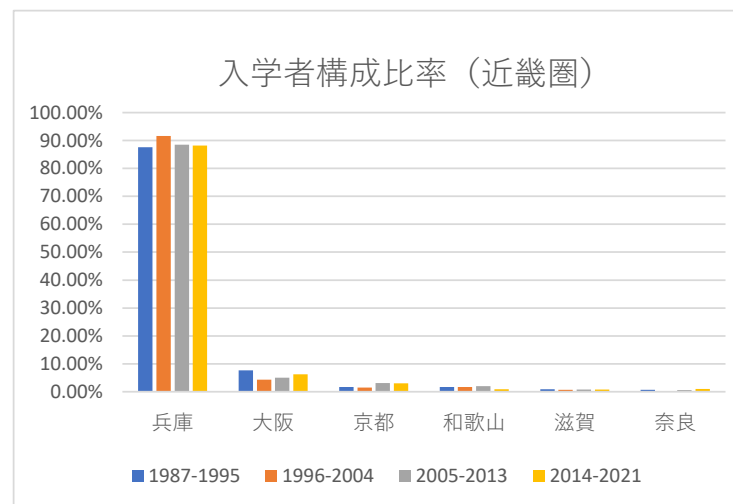
	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
東海地方以東	3.86%	2.92%	3.50%	3.34%
近畿地方	81.04%	75.78%	59.55%	58.45%
中国地方	10.01%	13.64%	15.38%	13.92%
四国地方	3.10%	4.92%	7.82%	5.51%
九州・沖縄地方	1.76%	1.62%	1.58%	2.32%
その他	0.23%	1.12%	12.16%	16.46%

### 近畿構成比率

	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
近畿				
兵庫	87.55%	91.61%	88.53%	88.21%
大阪	7.61%	4.33%	5.02%	6.20%
京都	1.65%	1.51%	3.13%	2.98%
和歌山	1.67%	1.66%	1.99%	0.87%
滋賀	0.87%	0.68%	0.76%	0.74%
奈良	0.65%	0.21%	0.57%	0.99%

### 県内構成比率

	1987-1995	1996-2004	2005-2013	2014-2021
兵庫県				
中播磨	31.71%	30.23%	37.74%	36.99%
東播磨	24.01%	22.70%	15.95%	17.72%
神戸	19.10%	21.43%	20.02%	21.66%
西播磨	11.18%	13.19%	11.99%	13.92%
北播磨	6.27%	5.47%	5.78%	4.64%
阪神南	4.00%	2.67%	3.21%	1.13%
但馬	1.07%	1.80%	2.46%	1.41%
阪神北	1.55%	0.96%	1.18%	0.84%
淡路島	0.67%	0.92%	0.80%	1.13%
丹波	0.45%	0.64%	0.86%	0.56%





## 高校所在地別入学者数(医療保健学部)

### 全国構成比率

	2005-2013	2014-2021
東海地方以東	5.79%	4.39%
近畿地方	60.21%	73.66%
中国地方	18.37%	8.49%
四国地方	9.98%	6.63%
九州・沖縄地方	3.35%	3.22%
その他	2.29%	3.61%
合計	100%	100%

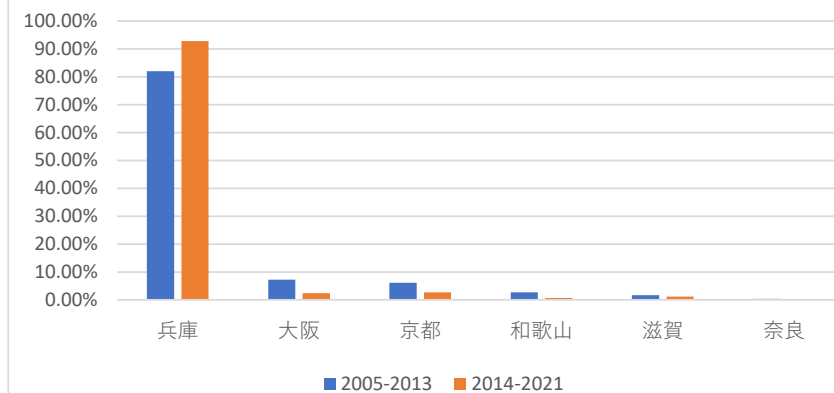
### 近畿構成比率

	2005-2013	2014-2021
近畿		
兵庫	82.03%	92.85%
大阪	7.22%	2.38%
京都	6.08%	2.65%
和歌山	2.66%	0.66%
滋賀	1.65%	1.19%
奈良	0.38%	0.26%

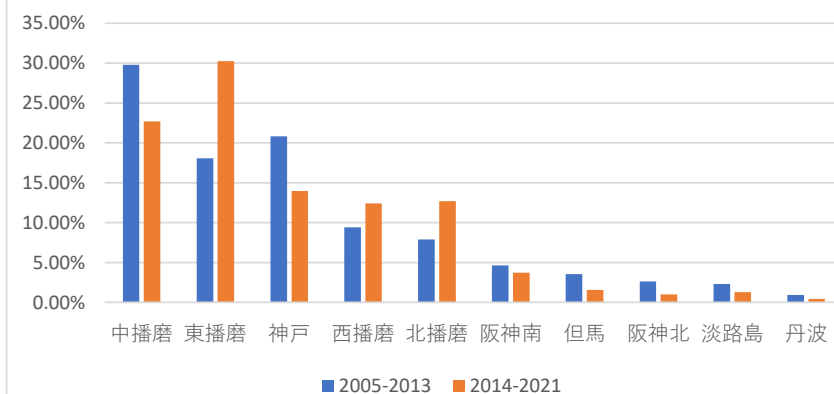
### 県内構成比率

	2005-2013	2014-2021
兵庫県		
中播磨	29.78%	22.68%
東播磨	18.06%	30.24%
神戸	20.83%	13.98%
西播磨	9.41%	12.41%
北播磨	7.87%	12.70%
阪神南	4.63%	3.71%
但馬	3.55%	1.57%
阪神北	2.62%	1.00%
淡路島	2.31%	1.28%
丹波	0.93%	0.43%

### 入学者構成比率（近畿圏）



### 入学者構成比率（兵庫県内）



## 高校所在地別入学者数(薬学部)

### 全国構成比率

	2007-2013	2014-2021
東海地方以東	5.85%	6.49%
近畿地方	80.99%	79.71%
中国地方	5.30%	6.69%
四国地方	1.46%	2.51%
九州・沖縄地方	2.74%	4.60%
その他	3.66%	0.00%
合計	100.00%	100.00%

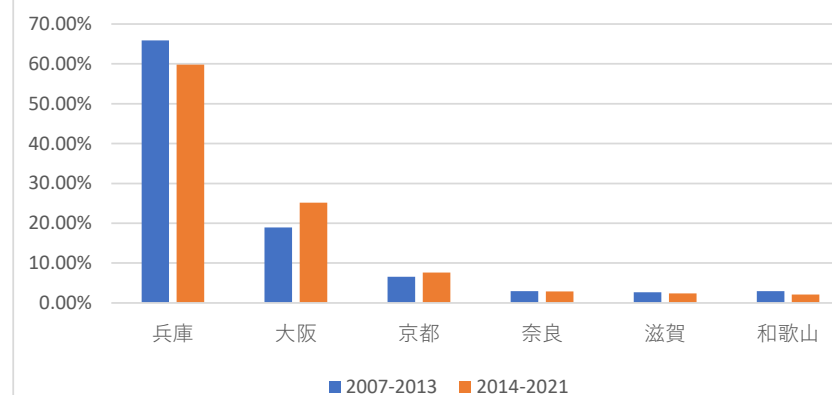
### 近畿構成比率

	2007-2013	2014-2021
近畿		
兵庫	65.91%	59.84%
大阪	18.96%	25.20%
京都	6.55%	7.61%
奈良	2.93%	2.89%
滋賀	2.71%	2.36%
和歌山	2.93%	2.10%

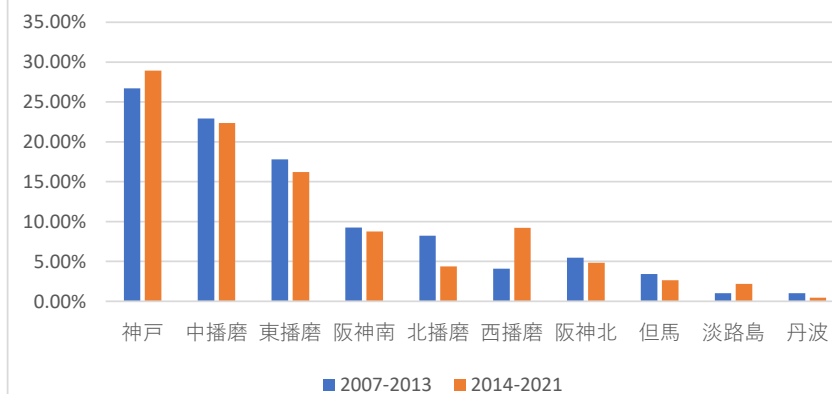
### 県内構成比率

	2007-2013	2014-2021
兵庫県		
神戸	26.71%	28.95%
中播磨	22.95%	22.37%
東播磨	17.81%	16.23%
阪神南	9.25%	8.77%
北播磨	8.22%	4.39%
西播磨	4.11%	9.21%
阪神北	5.48%	4.82%
但馬	3.42%	2.63%
淡路島	1.03%	2.19%
丹波	1.03%	0.44%

### 入学者構成比率（近畿圏）



### 入学者構成比率（兵庫県内）



## 高校所在地別入学者数(看護学部)

### 全国構成比率

	2016-2021
東海地方以東	3.21%
近畿地方	78.44%
中国地方	8.49%
四国地方	2.75%
九州・沖縄地方	2.52%
その他	4.59%

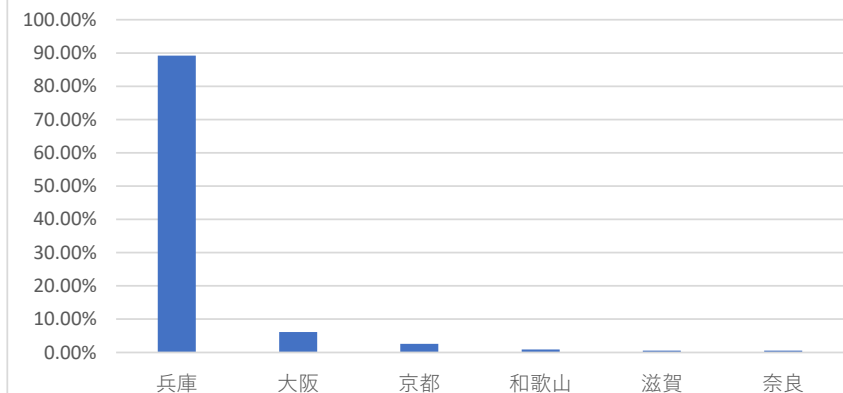
### 近畿構成比率

	2016-2021
近畿	
兵庫	89.18%
大阪	6.14%
京都	2.63%
和歌山	0.88%
滋賀	0.58%
奈良	0.58%

### 県内構成比率

	2016-2021
兵庫県	
中播磨	30.82%
東播磨	23.61%
神戸	19.34%
西播磨	9.18%
北播磨	7.87%
阪神南	2.95%
阪神北	2.62%
但馬	2.30%
丹波	0.66%
淡路島	0.66%

入学者構成比率（近畿圏）



入学者構成比率（兵庫県内）

